

臨床研究「子宮頸癌の病理診断に有用なバイオマーカーの探索」について

筑波大学附属病院病理部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の目的

子宮頸癌は女性の癌で4番目に頻度が高い癌です。子宮頸癌のなかでも「胃型腺癌」は2014年に新しくWHO (World Health Organization) 分類に加わった組織型で、悪性度が高いことが明らかになってきています。胃型腺癌は多彩な組織像をとりうるため病理診断が難しく、正確に診断するために新しいマーカーが必要とされています。本研究ではこの胃型腺癌を含め、子宮頸癌の病理診断に有用なバイオマーカーを探索します。

2. 研究対象者

1996年4月1日から2022年10月31日までに筑波大学附属病院で子宮頸癌およびその類縁疾患と診断された方

3. 研究期間

倫理審査委員会承認後～2026年3月31日まで

4. 研究の方法

病理診断の終了後に当院に保存されている残余検体（ホルマリン固定パラフィン包埋検体）を利用します。パラフィン包埋ブロックから切り出した切片に染色を行うほか、腫瘍の組織型の分類のためヒトパピローマウイルス（HPV）の有無を検査することがあります。

5. 試料・情報の項目

病理診断後の残余検体（ホルマリン固定パラフィン包埋検体）、検査データ、診療記録

6. 試料・情報の第三者への提供

なし

7. 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学・医学医療系・診断病理研究室

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2丁目1-1

施設代表者名:松原 大祐

9. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

10. 問い合わせ連絡先

〒305-8575

つくば市天王台 1-1-1 筑波大学附属病院病理部

Tel/Fax : 029-853-3350 対応可能時間 : 「平日 9~17 時」

担当 : 大和万里子

研究責任者 : 松原大祐